



日本マラソンの父

金栗四三のふるさと玉名 横島いちごマラソン大会

走って、楽しい 食べて美味しい



「四三さん」役・勘九郎さん
の合図で一斉にスタート

40年以上の歴史を誇る恒例のいちごマラソンも、今年は「いだてん」イヤーとあって日本マラソンの父・金栗四三の名前を冠に追加。大河ドラマで金栗さんを演じる中村勘九郎さんと母・シエ役の宮崎美子さんがサプライズゲストとして登場すると、会場は大盛り上がりとなりました。勘九郎さんは各コースのスターを務め、宮崎さんと一緒にステージから激励。「完走ば目指して、ばつてん無理せず、ぬしたち、頑張んなつせ」とエールが送られました。宮崎さんはランナーに混じってのんびりコースを走り、特産のイチゴをほおばり満喫。

「いだてん」のもうひとりの主人公・田畠政治のふるさと浜松市のキャラクター「出世大家康くん」も駆けつけ、金栗ユニホームのタマにちゃんと手を振って応援しました。

「支度して、ヨイ、どん！」



思い思いに楽しめる 走りやすいマラソン大会

幼児から80代まで約6千人が県内外から参加。3キロやハーフ、のんびり(2.5キロ)など田園風景の5コースを思い思いのペースで走ったり歩いたり。応援の中、自己ベスト更新を目指す人も、記録よりイチゴが楽しみという人も、はたまた工夫を凝らした衣装で走るのが楽しいという人も、誰もが楽しめる大会です。

給“イチゴ”と給“トマト”、完走後の貞汁がやみつきに

横島特産のイチゴ、ミニトマトがたくさん並んだ給水所では、思わず足を止めてゆっくり味わうランナーたちの姿も恒例です。ゴール地点周辺では、玉名の農産物やスイーツなどたくさんの出店がならび、アサリたっぷりの貞汁やおにぎりのふるまいもありました。無事走り終えたランナーたちは、思う存分玉名の味を満喫していました。